平成 31　 年　2　月　21　日

研修報告書

氏名：白井　謙太朗

所属：土浦協同病院小児科

研修期間：平成　29　年　5　月　1　日　～　平成　　年　　月　　日

研修場所：東京女子医科大学遺伝子診療部ゲノム診療科

受講動機：

小児神経を専門として外来を行っているなかで様々な先天性疾患、あるいは障害を持って生まれる子どもたちの診療を行い、その家族に接する機会が多くあります。遺伝学的な検査を行うこともしばしばありますが、これまで自分自身が遺伝学的な情報を十分に理解しご家族にわかりやすく伝えることが出来ていないことを自覚していました。今後、正確な知識と遺伝カウンセリングの技術を身につけて、これまで以上に子どもや家族の力になりたいと考えたこと、さらに研修で身につけたものを当院のなかでも後輩たちに伝えてゆきたいと考えたことが受講の動機です。当院は比較的規模の大きいNICUを持ち新生児医と連携の機会も多くあります。将来的に産科医、新生児科医と連携しながら遺伝に関する診療に関わりたいと考えています。

研修内容：　金曜日午後　遺伝子医療センター　遺伝外来の陪席

研修成果：　出生前診断（主にNIPT）や数多くの遺伝性疾患の外来診療に立ち会わせていただくことができました。自分が勤務する病院の患者さんをご紹介させていただいたこととも貴重な学びの機会となりました。陪席の中で自分自身だったらどのように考えるか、今後、自分の病院でどのような場面で役に立つことができるかをすこしずつ考えるようになりました。

その他（感想・要望・反省点、等）：

昨年度に続き、NGSDの研修をされている他施設の先生方と交流があることがとても励みになっています。今年度も日常診療に追われつつ研修に通う状況でしたが、この意義の大きなプロジェクトにお声をかけて下さり、いつも快くご指導いただいている東京女子医科大学の齋藤加代子先生、山本俊至先生、松尾真理先生、浦野真理先生をはじめ、教室の諸先生方に心から感謝を致します。